

●ホームページのご紹介

<http://www.fukuvi.co.jp>



トップページ



IR情報



おすすめ製品情報

株 主 メ モ

決 算 期 毎年3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日
利益配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞・福井新聞
(お知らせ)

当社は、決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ (<http://www.fukuvi.co.jp/ir/accounting/>) に掲載しております。

名義書換代理人 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス

同事務取扱場所 〒541-8583
大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス
本社証券代行部

(各種お問合せ) 電 話 ☎ 0120-255-100
※株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。

手続用紙請求電話 ☎ 0120-351-465
インターネットホームページ
<http://www.daiko-sb.co.jp>

同 取 次 所 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
上場証券取引所 大阪市場第2部・名古屋市場第2部



第 71 期 事 業 報 告 書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

Contents

- トップメッセージ…………… 1
- 事業のご案内…………… 3
- eco products…………… 5
- 新製品の紹介…………… 7
- 連結財務諸表…………… 9
- 個別財務諸表……………11
- グループ一覧……………12
- 会社の概要……………13
- 株式の状況……………14



証券コード：7871



顧客ニーズを汲み上げた高付加価値商品の展開で、 強靱な利益体質を

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに第71期の事業の概況と今後の経営方針についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **八木 誠一郎**

●●増収・増益／米子会社の累損を解消

当期におきましては、原油をはじめとした原材料の価格が高騰し、樹脂製品製造を中核事業とする当社にとっては厳しい年になりました。当社では、合理化努力を優先し、製品価格への転嫁を最小限に止めました。連結売上高は579億85百万円と、前期に比べ2.6%の増収、一方で、社を挙げて生産性の向上や、中間製品・在庫の削減などに取り組んだ結果、経常利益は17億12百万円(前年同期比14.6%)と、増益を確保することができました。

また、当期には、米国現地子会社「フクビUSA」(オハイオ州)が2期連続の黒字となり、設立8年にして累積損失を解消することができました。当社では、アメリカとタイに生産拠点を設けて国際展開を図っており、これを機に、海外での市場開拓をいっそう進めてまいります。

●●高付加価値・高利益製品で高い顧客満足

物価低落が止まらず、市場競争が激化する一方の市場では、いかに付加価値の高い製品を顧客に提案できるかが、競争を勝ち抜く鍵となります。そこで当社では、あえて売上至上主義を捨て、高付加価値・高利益率の製品を中心にビジネスを展開しています。そのためには、確かな技術にもとづいた製品開

発力が不可欠です。

現在、当社で手がけている製品開発活動には、主に2つのタイプがあります。ひとつは、当社のコア技術である異形押出技術など、独自技術を活用して自ら行う高付加価値な製品開発。もうひとつは、営業活動から得られたニーズやヒントをもとに、それに関連した技術を持つ会社と提携したり、製品製造も委託するような製品開発です。この方法には、開発にかかる時間や設備投資を節約できる一方で、当社の持つブランド力を生かせるという大きなメリットがあります。いわば、当社の“商社”としての側面を生かしたビジネスです。

この2つのバランスを取りつつ、当社が目指していることは何か。それは、最大公約数の顧客を満足させる製品を提供するのではなく、性能や価格などに対する個々の顧客ニーズを設計段階から汲み上げた製品を開発していくことです。そうすれば、個々の製品に高い利益率が確保できる一方で、さらに広い顧客層の支持を得られるような、優秀な製品の誕生も期待できます。これが、当社が現在進めているODM(オリジナル・デザイン・マニファクチャリング)というビジネスコンセプトです。

ODM活動からはこれまでに、さまざまな製品が生まれてきました。中でも、当社が特に期待を寄せているのが、環境共生

関連の製品群です。たとえば、ポリ乳酸を使った生分解性プラスチック。従来製品の弱点だった加工性を克服し、高い信頼性を確立したこの製品は、愛知万博の日本政府館の外壁にも採用されました。また、建築現場でのコンクリート壁形成などに用いる樹脂性型枠「ダブルライト」。従来の木製型枠の数倍の耐久性を持ちつつ、完全リサイクルが可能という、従来の常識を覆すものです。

当社では、これらの高付加価値商品を、他社の追随を許さない速度で一気呵成に市場展開することにより、先行者利益を確保していきます。

●●2007年度に向け、開発力あるメーカーとして飛躍する

私は社長として、当社に潤沢な利益をもたらしたいと熱望しています。配当として株主の皆さまに、給与として従業員に十分な還元・分配を行う一方で、十分な研究開発や設備投資資金を確保する必要があるからです。しかし現在の利益水準では、配当を維持すると、手元には余り資金が残りません。もっと利益を獲得する必要があります。

このたび、2007年度までの3年間を対象とする中期経営計画を策定しました。計画の概要は、①利益率の高い新製品(上

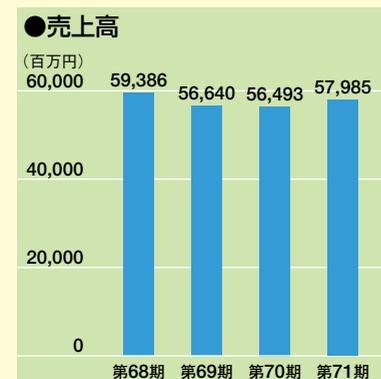
市から3年以内の商品)の比率を、現在の約20%から30%に引き上げる②生産サイドの合理化を徹底し、ムダ、ムラをなくす③これまで研究員一人ひとりが責任を負っていた開発部門に「チーム制」を導入、開発効率を上げる-といったものです。これにより、来期末には、売上高に対する経常利益の比率(ROS)を3%台に乗せ、2007年度末には7%にまで向上させる方針です。

今、当社は過渡期にあります。現在、オペレーションの1つひとつを見直しつつあるところです。

私は先ほど、売上至上主義を考え直す、と申し上げました。しかし、やはり企業の基本は売上です。あえて今、売上を最重要視していないのは、強靱な利益体質を作り上げるためなのです。なるべく早期に体質改善を終え、“良い売上重視志向”に再び方向を転換したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願いいたします。

平成17年6月



建築資材

売上高全体579億85百万円のうち367億62百万円、63.4%を占めており、以下の部門によっています。

■外装建材

戸建住宅の耐久性や居住性能、デザイン性向上などのニーズを先取りして多様に展開しております。サイディング外壁を際立たせる窯業系装飾部材(セミック)や、塗装の要らない装飾材(コンパルソリー)は主力商品です。結露をふせぎ、建物の寿命を伸ばす透湿・防水シート(エアテックス)は、屋根用シートや開口部の漏水を防止する関連商品の新規投入により、さらなる成長が期待されます。

外装建材部門は住宅や各種建物の多様化に合わせて品揃えを充実するとともに、換気促進、耐震補強、気密・断熱向上、土台・床下の耐久性向上など、相互に関連する重要なニーズを掘り起こし、発展させております。



■内装建材

集合住宅やビルディング、業務用施設を中心に、戸建住宅を含む多様・多彩なニーズに対し、当社のコアである押出成形技術の粋をつくり、業界において確固たる地位を得ております。

浴室用天井・壁装材(バスパネル)は不燃タイプを含む充実した品揃えにより、高い評価を得ております。ビルディング内装工事の必需品である見切、コーナー材、ジョイナーなどについては伝統の強さに加え、リサイクル原料の活用など新たな技術と商品の開発に取り組んでいます。戸建住宅用の強制換気システム、床下断熱材や養生材なども着実に伸びております。



■床関連材

当社は床関連材として、床仕上材(クッションフロア、ソフトタイルなど)、乾式二重床システム(フリーフロアー)、OA関連床システムなどを提供しております。いずれも主力事業分野であり、今後も拡販に注力します。

床仕上材は優れたデザイン開発力、提案力により、有力な商業施設やチェーン店の指名を数多く得ております。フリーフロアーは当社がパイオニアであり、今後も商品力と提案力を強化します。OA関連床システムは品揃えの充実とコスト競争力強化に努めます。



産業資材

当社は自動車、家電、住宅用設備機器、自動販売機、オフィス家具、窓サッシなど様々な産業分野の有力企業に、押出成形品の機能部材を納入しています。全売上高の23.5%を占めます。当社の技術力と企業の総合力を傾注し、頼られ信頼されるビジネス・パートナーとなるよう努めています。



産業資材
23.5%

住設・その他

アクリルセラミック化粧材(ケンジュール)はキッチンや出窓、受付などのカウンター材として最適の素材です。新製品(ハーフクリア)を投入して充実をはかります。また、反射防止フィルター(ハーツラスAR)は汚れや傷を防止し、水も油もはじく高透明・低反射パネルです。自動車用メーターパネル、携帯機器用液晶保護パネルなどに採用が増えております。



■システム建材

床下の防蟻、防湿を確保するアリダンSV-P工法、機能束工法、土台パッキン工法ならびにこれらを合体した床下セーフティUP保証制度は、当社の技術力と信用力が結実した画期的なシステム商品です。

また、木造住宅駆体サポート断熱システムを搭載したエアサイクルの家は、壁・外張断熱工法もしくは充填断熱型パネル工法による、人と建物の健康、省エネルギーを考え抜いた、フクビの誇るシステム商品です。

短時間のうちに室内を汚すことなく天井のリフォームができる天井システム、リフォジュールも、フクビの注力するシステム商品です。



建築資材
63.4%

住設・その他
13.1%



eco products

エコロジーの種が、次々と芽を出しています。

生活に密着した製品を提供するFUKUVIにとって、地球規模からライフスタイルまで、環境に対する責任は重大です。だからこそ業界に先駆けてISO14001認証を取得し、様々な分野における環境マネジメント活動やエコプロダクツの開発に一層のエネルギーを降り注いでいるのです。自然系が美しい花々を咲かせ続けるように、テクノロジーの力を役立て、持続可能で快適に過ごすことができる社会を咲かせたい。ほら、のぞいてみてください。壁や天井の中、床下にも、すくすくと育っています、エコの芽。



資源を有効利用したエコプロダクツ

FUKUVI独自のテクノロジーを駆使した製品の開発によって、森林資源の保護や化石燃料の資源保護に貢献しています。



エコフルガード
再生パルプを使用し、丈夫で複数回の現場転用が可能な養生材。



ECOM-W
木材の再利用を目的とし、木粉とプラスチックを複合した環境配慮型素材。



エコランバー
瓦棧など屋根材に腐食しない樹脂を使用し、耐久性を飛躍的に高めた再生素材アイテム。



自然エネルギーを有効利用したエコプロダクツ

自然そのものがもつ潜在能力をエネルギー資源として有効利用し、地球環境への負荷低減と生活環境の向上を両立しています。



エアサイクルの家
太陽と風のエネルギーを利用したパッシブソーラーハウス。夏涼しく冬暖かい、快適生活を演出。



フクフォーム
次世代省エネルギー基準に 대응する、断熱性と施工性に優れた床下断熱材。



エコレイン
自然の恵みを、庭木の散水や災害時の非常用水に利用する雨水貯留システム。環境共生住宅に最適。



資源の循環を実現するエコプロダクツ

プラスチックやPETボトル、ゴムなどのリサイクル・リデュース・リユースによって、化石燃料の資源保護に貢献しています。



樹脂型枠 ダブルライト
合板型枠の使用による森林伐採を抑制する、樹脂型枠。回収システムにより半永久的なリサイクルを実現。



スーパーエアテックスECO
再生PETボトルを有効利用した透湿防水シート。透湿フィルム補強タイプに比べ、引っ張り強度がアップ。



クリーンOAフロア
再生プラスチックを使用したフリーアクセスフロア。解体時にもリサイクル素材として転用が可能。

これからも新製品が続々登場!!

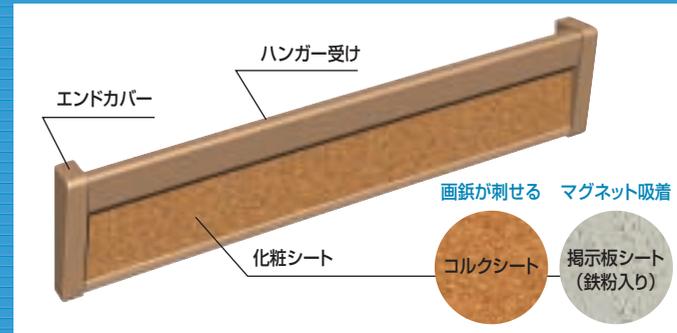
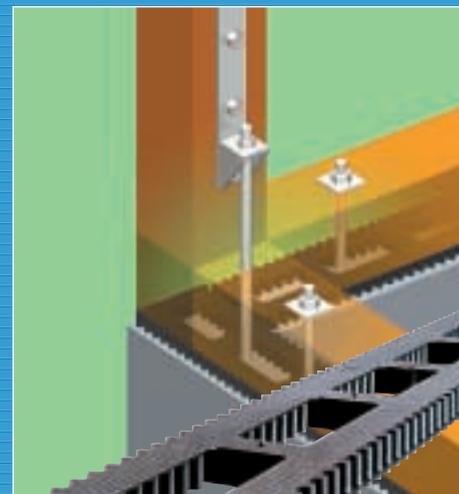
フクビは、お客様の声と環境への配慮を反映したモノづくりを推進していきます。



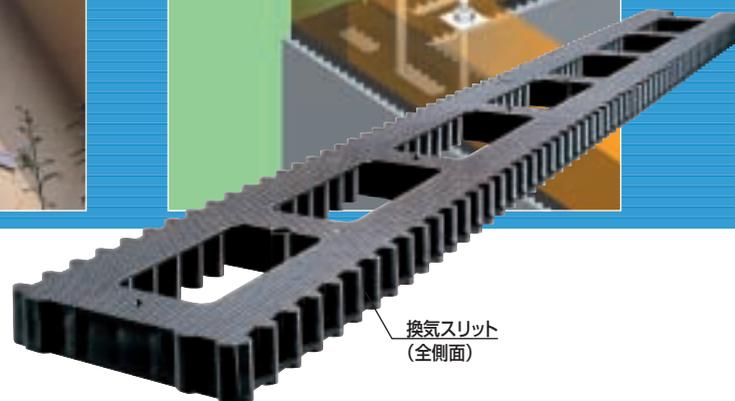
入母屋部の壁面を格子で覆う装飾部材「大型枡格子」に住宅を格調高く演出し、全体の印象を引き締めるブラック色を追加

お客様のご要望を反映し使い勝手を追求したシンプル・多機能な壁付け新型ハンガー「ピンタックハンガー」

長さ909mmの側面に防鼠機能を合わせ持つ長尺全周換気材「土台パッキンL(エル)」



クロスの出隅が綺麗に仕上る下地材「エココーナーベース」



換気スリット (全側面)

●連結貸借対照表

科 目	第71期	第70期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	6,696	5,964
受取手形及び売掛金	22,379	21,743
たな卸資産	7,127	7,419
未収入金	1,473	1,554
繰延税金資産	366	347
その他	121	162
貸倒引当金	△ 97	△ 80
流動資産合計	38,065	37,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,525	4,812
機械装置及び運搬具	2,534	2,685
工具器具及び備品	646	561
土地	2,343	2,344
建設仮勘定	53	8
有形固定資産合計	10,101	10,409
無形固定資産	77	88
投資その他の資産		
投資有価証券	2,874	2,045
長期貸付金	4	4
長期前払費用	5	9
繰延税金資産	1,001	1,058
その他	676	679
貸倒引当金	△ 63	△ 63
投資その他の資産合計	4,499	3,733
固定資産合計	14,677	14,230
資産合計	52,742	51,340

(単位:百万円)

科 目	第71期	第70期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,608	17,127
短期借入金	2,532	2,606
1年以内返済の長期借入金	168	166
未払金	220	203
未払法人税等	528	651
未払費用	896	943
賞与引当金	601	564
その他	684	526
流動負債合計	23,237	22,786
固定負債		
長期借入金	63	222
繰延税金負債	9	—
退職給付引当金	1,109	1,222
役員退職引当金	1,534	1,186
固定負債合計	2,714	2,630
負債合計	25,951	25,416
(少数株主持分)		
少数株主持分	4,313	3,762
(資本の部)		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,511	1,511
利益剰余金	18,506	18,352
株式等評価差額金	368	193
為替換算調整勘定	△ 88	△ 79
自己株式	△ 12	△ 8
資本合計	22,478	22,162
負債、少数株主持分及び資本合計	52,742	51,340

●連結損益計算書

科 目	第71期	第70期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
売上高	57,985	56,493
売上原価	45,465	43,796
販売費及び一般管理費	10,937	11,316
営業利益	1,584	1,382
営業外収益	301	336
受取利息	3	2
受取配当金	21	11
不動産賃貸料	25	24
為替差益	11	—
持分法による投資利益	—	7
その他	242	292
営業外費用	173	224
支払利息	24	38
売上割引	1	1
持分法による投資損失	2	—
為替差損	—	35
その他	146	151
経常利益	1,712	1,493
特別利益	193	8
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	3	1
貸倒引当金戻入益	2	—
保険差益	188	—
特別損失	284	352
役員退職引当金繰入額	192	266
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	27	49
投資有価証券売却損	8	—
投資有価証券評価損	8	6
ゴルフ会員権評価損	5	22
災害損失	44	—
役員退職慰労金	—	9
税金等調整前当期純利益	1,622	1,149
法人税、住民税及び事業税	879	936
法人税等調整額	△ 177	△ 361
少数株主利益	480	212
当期純利益	440	361

(単位:百万円)

●連結剰余金計算書

科 目	第71期	第70期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,511	1,511
資本剰余金期末残高	1,511	1,511
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	18,352	18,276
利益剰余金増加高	440	361
当期純利益	440	361
利益剰余金減少高	286	285
配当金	271	271
役員賞与	15	14
(うち監査役賞与)	(2)	(2)
利益剰余金期末残高	18,506	18,352

(単位:百万円)

●連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第71期	第70期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,624	3,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,377	△ 989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 520	△ 503
現金及び現金同等物に係る為替換算差額	4	△ 2
現金及び現金同等物の増減額	731	1,981
現金及び現金同等物期首残高	5,964	3,984
現金及び現金同等物期末残高	6,696	5,964

(単位:百万円)

● 個別貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第71期	第70期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	30,555	30,601
固定資産	12,619	12,258
有形固定資産	8,174	8,387
無形固定資産	42	46
投資その他の資産	4,404	3,825
資産合計	43,175	42,858
(負債の部)		
流動負債	19,187	19,215
固定負債	1,881	1,751
負債合計	21,068	20,966
(資本の部)		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,511	1,511
利益剰余金	18,046	18,003
株式等評価差額金	368	193
自己株式	△ 12	△ 8
資本合計	22,106	21,892
負債・資本合計	43,175	42,858

● 個別損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第71期	第70期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
売上高	45,895	47,524
売上原価	35,934	37,282
販売費及び一般管理費	9,173	9,510
営業利益	788	732
営業外収益	278	307
営業外費用	153	131
経常利益	914	908
特別利益	3	1
特別損失	261	265
税引前当期純利益	656	644
法人税、住民税及び事業税	409	586
法人税等調整額	△ 115	△ 310
当期純利益	362	368
前期繰越利益	7,061	6,927
中間配当額	155	155
当期末処分利益	7,268	7,140

● 利益処分計算書

(単位:百万円)

科 目	第71期	第70期
	平成17年6月22日	平成16年6月22日
当期末処分利益	7,268	7,140
任意積立金取崩額		
特別償却積立金取崩額	13	13
特定資産圧縮積立金取崩額	6	6
退職積立金取崩額	—	70
合 計	7,268	7,229
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金 (1株につき7円50銭)	155	155
取締役賞与金	8	8
監査役賞与金	1	1
任意積立金積立額		
特別償却積立金	1	3
次期繰越利益	7,122	7,062

● 事業所

本 社	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8001 FAX(0776)38-8080
東京支店	〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23-3(フクビル) TEL(03)5742-6300 FAX(03)5742-6316
札幌営業所	〒003-0835 札幌市白石区北郷五条8丁目3番地22 TEL(011)873-4588 FAX(011)873-4551
盛岡営業所	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通り15番19号(盛岡アコク生命ビル) TEL(019)654-7511 FAX(019)654-7519
仙台営業所	〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南97-3e-環境仙台ビル3F) TEL(022)287-3471 FAX(022)287-3468
新潟営業所	〒950-0086 新潟市花園2丁目1番16号(三和ビル2F) TEL(025)241-7832 FAX(025)243-5470
宇都宮営業所	〒321-0953 宇都宮市東宿郷6丁目1-7(ビッグ・ビー東宿郷1F) TEL(028)636-3521 FAX(028)636-6310
中央営業所	〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮5丁目31番11号(勝田ビル2F) TEL(048)688-1030 FAX(048)688-1034
千葉営業所	〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1丁目26番14号 TEL(043)247-3651 FAX(043)242-3577
西東京営業所	〒190-0013 東京都立川市富士見町1丁目31番3号 TEL(042)529-3911 FAX(042)524-9494
横浜営業所	〒231-0035 横浜市中区千歳町1-2(横浜THビル6F) TEL(045)242-5100 FAX(045)242-5451
大阪支店	〒564-0053 吹田市江の木町17-12(フクビル) TEL(06)6386-0800 FAX(06)6338-3313
京都営業所	〒601-8131 京都市南区上鳥羽鴨田18(らくなんビル2F) TEL(075)662-2315 FAX(075)682-2943
広島営業所	〒730-0041 広島市中区小町3番25号(住金物産広島ビル) TEL(082)246-7211 FAX(082)249-5802
高松営業所	〒760-0072 高松市花園町1丁目1番5号(花園ビル2F) TEL(087)835-3721 FAX(087)835-3094
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-13-21(エビルウイング2F) TEL(092)471-5800 FAX(092)471-5737
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町12番2号(明治安田生命西鹿児島ビル4階) TEL(099)259-0220 FAX(099)251-4086
岡山出張所	〒700-0975 岡山市今3丁目15番23号(サンライズコブキビル) TEL(086)242-0088 FAX(086)242-0087
沖縄出張所	〒902-0075 那覇市字国場1170-6(丸茂アパート) TEL(098)855-6100 FAX(098)855-6321
名古屋支店	〒451-0062 名古屋市中区花の木3丁目12番4号(フクビル) TEL(052)532-6660 FAX(052)521-3307
静岡営業所	〒422-8066 静岡市駿河区泉町2-3(アズマビル1F) TEL(054)288-3600 FAX(054)288-3885
長野営業所	〒381-2203 長野市真島町川合335番地1(長野合同オフィス2F) TEL(026)286-3689 FAX(026)286-3702
北陸営業所	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8010 FAX(0776)38-8082

本 社 工 場	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8034 FAX(0776)38-8088
坂 井 工 場	〒919-0506 福井県坂井郡坂井町定旨1字1番 TEL(0776)66-8600 FAX(0776)66-4641
三 方 工 場	〒919-1303 福井県三方上中郡若狭町三方18号字菅原45番地 TEL(0770)45-1260 FAX(0770)45-1206
大 阪 工 場	〒532-0022 大阪市淀川区野中南2丁目8番25号 TEL(06)6302-1556 FAX(06)6302-1559
つくば技術 開発研究所	〒305-0047 茨城県つくば市千現2丁目1番6号(つくば研究支援センターD-16) TEL(0298)58-6261

● 関係会社

タイ フクビ株式会社	タイ国サムットプラ坎県プレクサ村ム-4の499番地(バンブー工業団地) TEL(662)709-4053 FAX(662)324-0596
FUKUVI USA, INC.	7631 ProgressCourt, CenterPoint70 Commerce Park Huber Heights, Ohio, 45424, USA TEL(937)236-7288 FAX(937)236-7289
エアサイクルホームシステム株式会社	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 F・C 本部 〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号(フクビル) TEL(03)5709-3196 FAX(03)5709-3266
株式会社メルツエン	〒003-0835 札幌市白石区北郷五条8丁目3番22号 TEL(011)874-3731 FAX(011)874-3726
リフォジュール株式会社	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 営業システム本部 〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号(フクビル) TEL(03)5742-6331 FAX(03)5742-6337
フクビハウジング株式会社	〒028-3452 岩手県紫波郡紫波町片寄字下谷地738 TEL(019)673-8252 FAX(019)673-8171



会社の概要

Corporate Data

(平成17年3月31日現在)

●会社の概要

創 立	昭和28年5月25日 (法人成立年月日 昭和22年10月31日)
資本金	21億9,390万円
従業員数	785名 (従業員数には関連会社等への出向社員(41名)及び 使用人兼務役員(6名)、嘱託及び臨時従業員 (95名)は含まれておりません。)
URL	http://www.fukuvi.co.jp

●主要な事業品目

建築資材	
外装建材	セミックス(窯業系不燃外装材)、コンパルソリー (耐候性樹脂製外装材)、左官定木、ダブルライ ト(型枠)、換気材、スーパーエアテックス(透湿 防水シート)、土台パッキン、エクラート(FRP製外 装装飾材)
内装建材	廻り縁、巾木、バスパネル(浴室天井材)、見切、 内装下地材、点検口枠、フィッティングシリーズ (集合住宅用造作部材)、養生材、サウンドレス システム(防音遮音材)、フクフォーム(断熱材)
床関連材	ソフトタイル、天然石タイル、木複合タイル、耐熱 耐汚染性タイル、クッションフロア、フリーフロア (集合住宅用・スポーツ施設用二重床システ ム)、OA床関連システム、床暖房システム、機能 束(プラ束、鋼製束)
システム建材	エアサイクルシステム、リフォジュール(リフォーム 天井システム)、アリダン工法(防蟻工法)
産業資材	
樹脂サッシ	窓枠、浴室用ドア
産業機器	家電製品部材、家具木工部材、住宅設備部材、 機器部材、車両部材、包装資材、農業土木用 資材
住設・その他資材	
住 設 その他資材	ケンジュール(人工大理石)、ハーツラスAR(反射 防止フィルター)、ナルホット(加熱加温容器)

●役 員

取締役会長	八 木 熊 吉
取締役社長	八 木 誠一郎
専務取締役 (営業本部長)	中 島 昌 彦
専務取締役 (営業本部副本部長)	乙 部 章
常務取締役 (品質保証本部長)	田 中 誠
取 締 役 (三井化学株式会社 取締役社長)	中 西 宏 幸
取 締 役 (日本トレーディング株式会社 取締役社長)	三 浦 敏 宏
取 締 役 (長瀬産業株式会社 取締役社長)	長 瀬 英 男
取 締 役 (三井化学株式会社 取締役)	榊 由 之
取 締 役 (小野グループ代表 日本マイヤー株式会社取締役会長)	小 野 光 太 郎
取 締 役 (タイフクビ株式会社 取締役副社長)	松 井 武 夫
取 締 役 (社 長 室 長)	五十嵐 紘
取 締 役 (生産技術本部長)	吉 村 利 栄
取 締 役 (リフォジュール株式会社 取締役社長)	望 月 功
取 締 役 (建 材 事 業 部 長)	田 中 晴 雄
取 締 役 (C S E 事 業 部 長)	南 部 幸 三 郎
常勤監査役	小 田 英 治
監 査 役	華 岡 正 泰
監 査 役	笛 吹 文 彦

株式の状況

Status of Stocks

(平成17年3月31日現在)

●株式の状況

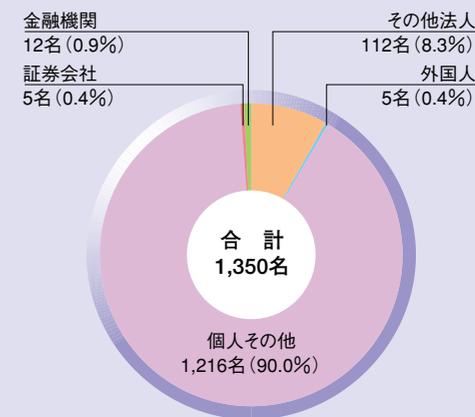
株式の総数	
発行する株式の総数	42,000,000株
発行済株式の総数	20,688,425株
株式の異動状況	
当期中の名義書換の件数	281件
当期中の名義書換の株数	3,341,759株
当期末現在の株主数	1,350名

大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
三井化学株式会社	3,182千株	15.4%	146千株	0.0%
株式会社 八 木 熊	2,574	12.4	—	—
長瀬産業株式会社	1,284	6.2	119	0.0
日本トレーディング株式会社	983	4.8	100	1.0
株式会社 福 井 銀 行	710	3.4	1,100	0.5
八 木 誠 一 郎	631	3.0	—	—
株式会社 北 陸 銀 行	597	2.9	—	—
昭和興産株式会社	570	2.8	85	1.0
八 木 信 二 郎	541	2.6	—	—
住友化学工業株式会社	464	2.2	83	0.0

- (注) 1. 持株数は千株未満を、出資比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。
 2. 当社の三井化学株式会社、長瀬産業株式会社、株式会社福井銀行、株式会社北陸銀行および住友化学工業株式会社への出資については、その中の一部がいずれも中央三井信託銀行株式会社へ退職給付信託として拠出したものが含まれており、それ等は同社が株主名義人となっております。
 なお、当該出資株式の議決権行使については、当社が指図権を留保しております。
 3. 株式会社北陸銀行は株式移転を実施し、平成15年9月26日をもって持株会社である株式会社ほくぎんフィナンシャルグループ(平成16年9月1日 商号を「株式会社ほくぎんフィナンシャルグループ」から「株式会社ほくぎんフィナンシャルグループ」に変更)が設立されました。株式会社ほくぎんフィナンシャルグループについて、当社の持株数は2,060千株(出資比率0.2%)であります。

●所有者別株主分布



●株価チャート

